

プレス・リリース

令和3年度秋の叙勲

アンビニンツア・スルフニアイナ・ラクトマナナ現アンタナナリボ大学日本語コース長、
現NGO桜 顧問兼監査役、
元マダガスカル日本語教師会会長の旭日小綬章受章

2021年11月3日

在マダガスカル日本国大使館

11月3日、令和3年秋の叙勲受章者が発表され、アンビニンツア・スルフニアイナ・ラクトマナナ氏が日本・マダガスカル間の関係強化及び友好親善に寄与した功績により、旭日小綬章を受章することとなりました。

アンビニンツア・スルフニアイナ・ラクトマナナ氏は、2006年、政策研究大学院大学で日本語・日本文化研究の修士号を取得した後、マダガスカルに帰国し、高等教育機関で後進へ日本語を教えるなど、長年に亘ってマダガスカルにおける日本語教育の発展に尽力しており、2019年からは、アンタナナリボ大学の人文学部英語学科マダガスカル語・日本語コースのコース長を務めています。

また、同氏はマダガスカル人の日本留学経験者らと協力し、帰国留学生会「NGO桜」を設立し、創設時より現在まで、顧問兼監査役として中心的な役割を務めているほか、2011年には、マダガスカルで活動する日本語教師を集め、マダガスカルにおける日本語教育の促進と教師の能力向上を目的とした活動を行う「マダガスカル日本語教師会（JALTA）」を設立し、初代会長として日本・マダガスカル間の関係強化及び友好親善に大きく貢献されてきました。

アンビニンツア・スルフニアイナ・ラクトマナナ氏に対する勲章伝達式は、後日、在マダガスカル日本国大使公邸にて実施される予定です。